

会報 栄養日本・礎

公益社団法人 日本栄養士会

日本栄養士会ホームページの会員限定ページには、会員の役に立つ情報が掲載されています。
是非、定期的に閲覧いただきますようお願いいたします。

会員限定ページ
ユーザー名 (eiyoushikai)
パスワード (jda2011)

平成28年度 公益社団法人日本栄養士会 定時総会 開催通知

平成28年6月1日

代議員・会員各位

公益社団法人日本栄養士会会長 小松龍史

日 時 平成28年6月26日(日) 13:00～17:00

6月27日(月) 9:00～12:00

場 所 東京ビッグサイト 会議棟6階(605-608)

東京都江東区有明3-11-1 TEL03-5530-1111

構成員 代議員

総会議題

第1号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

第4号議案 役員報酬承認の件

第5号議案 名誉会員承認の件

日 程

第1日 6月26日(日)

12:00～13:00 受付

13:00～14:00 特別講演

14:00～14:20 開会

会長挨拶

議長団選出・議事録署名人選出・書記団指名・会議運営委員指名

総会成立宣言

14:20～15:00 第2号議案 (提案・選任決議)

15:00～15:50 第1号議案 (提案説明)

15:50～16:00 第3号議案 (提案説明・討論・採決)

16:00～16:10 第4号議案 (提案説明・討論・採決)

16:10～16:20 第5号議案 (提案説明・討論・採決)

16:20～16:55 協議事項 平成28年度事業執行計画、予算について(提案説明)

16:55～17:00 第2号議案 (選任決議報告)

18:00～20:00 情報交換会(東京ベイ有明ワシントンホテル) 参加費7,000円

第2日 6月27日(月)

8:30～9:00 受付

9:00～9:20 総会式典

9:20～10:00 第1号議案 平成27年度事業報告、貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)、財産目録承認の件(討論・採決)

10:00 ～ 11:00 協議事項 平成28年度事業執行計画、予算について(討論)
11:00 ～ 11:50 協議事項 管理栄養士・栄養士の将来像の実現について(提案・討論)
11:50 ～ 12:00 宣言(案)採択
12:00 閉会

【注意事項】

1. 上記議案の内容は「総会資料」(ホームページ会員限定ページに掲載します。代議員の方へは、別途郵送します。)をご覧ください。出欠につきましては、次によりご手配ください。
 - (1) 出席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出てください。
 - (2) 欠席する代議員は、その旨を所属都道府県栄養士会に届け出るとともに、必ず「委任状」を提出してください。「書面表決」の場合には、平成28年6月24日(金)午後5時45分までに本会に提出をお願いします。
 - (3) 都道府県栄養士会長は、所属代議員の出欠〔①総会、②情報交換会〕を確認し、6月13日(月)までに日本栄養士会会長に指定の様式にて届け出てください。
 - (4) 代議員以外の出席を希望する会員は、①所属都道府県栄養士会名、②会員番号、③氏名、④出欠〔1) 総会、2) 情報交換会〕を記入し、6月13日(月)までに日本栄養士会あてにファクシミリ(FAX 03-5425-6554)にて申し出てください。
2. 総会出席者は、定刻までに会場に到着し、受付を済ませて、総会会場にご参集ください。

【情報交換会】

日 時 平成28年6月26日(日) 18:00 ～ 20:00
場 所 東京ベイ有明ワシントンホテル「アイリス」
東京都江東区有明3-7-11
参加費 7,000円(当日徴収)

平成28年度 公益社団法人日本栄養士会 賛助会員会総会 開催のご案内

平成28年6月1日

賛助会員会会員各位

日 時 平成28年6月27日(月) 15:30 ～ 16:30
場 所 東京ビッグサイト 会議棟6階 会議室609
東京都江東区有明3-11-1 TEL03-5530-1111
内 容 報告・説明
①日本栄養士会の活動について
議題
①賛助会員会平成27年度事業報告について
②賛助会員会平成28年度事業計画案について
③賛助会員会会則の変更について
④賛助会員会役員改選について
その他
①日本栄養士会への要望
②その他

※平成28年度公益社団法人日本栄養士会定時総会ならびに情報交換会へも、是非、ご出席ください。
参加申し込み方法などの詳細は、直接ご案内します。

平成28年度 公益社団法人日本栄養士会理事候補者について

平成28年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 片桐小津枝

平成28年4月1日付けで、日本栄養士会ホームページ等で告示をした理事選任総会決議について立候補がありました。

平成28年4月28日に選任決議管理委員会を開催し、候補者の資格審査を行いました。その結果、別表のとおり理事候補者を決定したので、役員選任総会決議にかかる手続規程第17条第1項に基づき告示します。

別表

1. 一般理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	木戸 康博	京都府	研究教育	
2	下浦 佳之	兵庫県	医療	
3	塚田 定信	大阪府	医療	
4	神戸 絹代	静岡県	研究教育	
5	齋藤 長徳	青森県	研究教育	
6	鈴木 志保子	神奈川県	研究教育	
7	田中 弥生	神奈川県	研究教育	
8	西村 一弘	東京都	医療	
9	迫 和子	神奈川県	公衆衛生	
10	渡辺 啓子	福岡県	医療	
11	園原 規子	長野県	地域活動	
12	小松 龍史	京都府	研究教育	
13	赤枝 いつみ	神奈川県	公衆衛生	
14	柵木 嘉和	愛知県	学校健康教育	
15	井上 浩一	東京都	研究教育	
16	中川 幸恵	北海道	医療	
17	長谷川克己	千葉県	医療	
18	寺本 房子	岡山県	研究教育	

2. 職域理事選任決議分野候補者氏名(届出順)

No.	氏 名	都道府県	職 域	備 考
1	石川 祐一	茨城県	医療	医療から推薦あり
2	海老原昌子	千葉県	地域活動	地域活動から推薦あり
3	斎藤 トシ子	新潟県	研究教育	研究教育から推薦あり
4	政安 静子	茨城県	福祉	福祉から推薦あり
5	星野 記史	鳥取県	学校健康教育	学校健康教育から推薦あり
6	國分 葉子	東京都	勤労者支援	勤労者支援から推薦あり
7	阿部 絹子	群馬県	公衆衛生	公衆衛生から推薦あり

公益社団法人日本栄養士会理事選任総会決議の方法について

平成28年6月1日

代議員各位

公益社団法人 日本栄養士会
選任決議管理委員長 片桐小津枝

公益社団法人日本栄養士会定款第21条第1項、第3項および役員選任総会決議にかかる手続規程第6条から第19条までにに基づき、総会会場で理事の選任に関する選任決議を次の分類ごとに行います。

- 1. 一般理事選任決議分野候補者 18名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。
- 2. 職域理事選任決議分野候補者 7名 総会会場で選任の可否を問う選任決議を行います。

====選 挙 公 報=====

◆各候補者から届出のあった事項を公報します。
(各候補者から提出のあった公報原稿を、そのまま掲載します。)

1. 一般理事選任決議分野候補者

一般 選挙 責任 候補 者		届出番号	京 1	ふりがな	きど やすひろ	性別	男・女	
		勤 務 先	名称	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学 〒 606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5				
			TEL 075-703-5402					
		所属都道府県 栄養士会	京都府 栄養士会	会員 番号	0 2 6 0 1 2 7 1	所属職域	研究教育	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】		すべての栄養士会会員が将来の夢や思いを熱く議論できる日本栄養士会でありつづけるために、					
	昭和56年3月～昭和62年3月	大塚製薬㈱ 徳島研究所 研究員	(1) 管理栄養士・栄養士の職業倫理 管理栄養士・栄養士の倫理綱領を普及するとともに、業務規範の制定に努めたい。 (2) 管理栄養士・栄養士の養成 栄養士・管理栄養士養成施設におけるコアカリキュラムを普及するとともに、専門職教育の国際標準化の推進に努めたい。 (3) 栄養士・管理栄養士養成施設の専門職教員の養成 栄養士・管理栄養士養成施設の教員の資質向上を推進するとともに、専門職教員養成制度の整備に努めたい。 (4) 管理栄養士・栄養士の生涯教育の推進 生涯教育のミニマムスタンダードの推進を通して、管理栄養士・栄養士の資質向上に努めたい。					
	昭和56年4月～平成9年3月	徳島大学 医学部 助手						
	平成 9年4月～平成19年3月	京都府立大学 人間環境学部 助教授						
	平成19年4月～平成20年3月	京都府立大学 人間環境学部 教授						
	平成20年4月～現在	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授						
	【業績】							
	『栄養科学シリーズNEXT』のシリーズ編集委員として、58巻（平成25年10月現在）を編集刊行した。平成25年4月からは、『栄養科学シリーズNEXT』のシリーズ総編集として、教科書を編集刊行している。日本栄養改善学会監修・編集による管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠教科書シリーズを9巻（平成25年10月現在）編集刊行した。							
	【会員・役員歴】							
	平成元年～現在	(社)日本栄養士会 会員						
平成 5年3月～平成9年3月	(社)徳島県栄養士会 理事							
平成 7年4月～平成9年3月	(社)徳島県栄養士会 副会長							
平成18年5月～平成20年5月	(社)京都府栄養士会 監事							
平成20年5月～平成22年5月	(社)京都府栄養士会 理事							
平成20年6月～現在	(公社)日本栄養士会 理事							

◎ 一般理事選任決選分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	しもうら よしゆき	性別	男・女
		氏名	下浦 佳之				
		勤務先	名称 兵庫県立尼崎総合医療センター 〒 660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17-17 TEL 06-6480-7000				
	所属都道府県 栄養士会	兵庫県 栄養士会	会員番号	0 2 8 7 0 1 7 5	所属職域	医療	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 S56年 兵庫県立光風病院 給食課 H02年 兵庫県立尼崎病院 給食課 H06年 兵庫県福祉部地域福祉課 監査指導係 H12年 兵庫県立こども病院 栄養指導課長 H20年 兵庫県立加古川病院 次長兼栄養指導課長 H21年 兵庫県立加古川医療センター 同 H24年 兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長 H28年 兵庫県立尼崎総合医療センター 同現職 【会員・役員歴】 会員歴：S56年～現在（35年） 日栄養士会：日本栄養士会理事（理事5期目）H18～現在 常務理事（H26～現在） 栄養ケア・システム推進・事業部長（H22～H25） 学術情報部長（H20～H21） 生涯学習検討会委員長（H18～H19） 兵庫県立：兵庫県立栄養士会 副会長（H24～現在） 栄養ケア・システム：委員会委員長・生涯学習委員長他・兵庫県糖尿病協会栄養部会役員・兵庫県小児保健協会理事 【講師等】神戸女子大学客員教授、神戸学院大学客員教授						
立候補の抱負	「人は一生を健やかで幸せな生活を送ることを願う」そのニーズに対して管理栄養士・栄養士は食と栄養の専門職として「栄養の指導」を通して人々を支え、共に健やかな社会を築くことを目指す必要があります。その実現のために将来構想を掲げ、管理栄養士・栄養士の将来像実現に向け、これまでの様々な取り組みを今後も拡充していきます。具体的には ①理論形成としての法整備に向けた考え方の共有 ②実地形成としての栄養ケア・ステーションの拡充 ③世論形成としての情報発信力の強化 ④政策形成としての国及び関係団体との緊密な調整等 等を図ることが重要です。 少子高齢社会の本格的な到来を迎えて、国では、社会保障制度の継続のため、各種制度の見直しや最近の話題として「一億総活躍社会」理念より「ニッポン一億総活躍プラン」の策定、検討がなされています。そんな中で日本栄養士会として、国民の健康の保持増進、健康寿命の延伸、社会保障費の削減等に向けて、各分野が連携し、様々な栄養課題に対応していくことが求められています。今回の理事立候補にあたり、喫緊の課題を中心に継続・発展的な解決に取り組み、本会の公益目的の達成に向けて透明性と責任ある執行及び健全な財政運営の確保に努めます。						

◎ 一般理事選任決選分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	つかだ さだのぶ	性別	男・女
		氏名	塚田 定信				
		勤務先	名称 大阪市立大学医学部附属病院 〒 545 - 8586 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5-7 TEL 06-6645-2870				
	所属都道府県 栄養士会	大阪府 栄養士会	会員番号	0 2 7 0 0 2 0 4	所属職域	医療(病院)	
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和55年4月～ 大阪市立大学医学部附属病院奉職 平成13年4月～ 同 主査 平成19年4月～ 同 保健副主幹 平成24年4月～ 同 保健主幹 現在に至る 【業績】 昭和60年4月から、入院患者食事管理業務のコンピュータによるシステム化を推進 平成6年2月 入院患者食事管理業務の改善提案について大阪市長表彰 【会員・役員歴】 日本栄養士会 昭和55年4月～ 大阪府栄養士会 入会 平成16年6月～ 大阪府栄養士会病院部会強化委員 平成18年6月～ 大阪府栄養士会 理事 その他 平成7年5月～ 日本糖尿病学会 会員 平成15年3月～ 日本臨床栄養協会 評議員 平成23年2月～ 日本臨床栄養協会 理事 平成26年4月～ 日本栄養改善学会 評議員 平成27年7月～ 日本病態栄養学会 代議員 平成28年1月～ 日本病態栄養学会 評議員						
立候補の抱負	私は、大学病院で36年間栄養管理業務に従事する中、病院で働く管理栄養士に向けている期待が何なのかを常に考えながら勤めてまいりました。近年ではチーム医療の推進が大きな流れであったと思いますが、加えて医療の地域連携も加速度的に進んでおり、病院と地域、在宅の連携についても早急な環境整備が必要であると感じております。 今回の立候補においては、次の点において取り組む所存です。 1. チーム医療における管理栄養士の役割として位置づけられる業務の確立（業務独占への取り組み）に取り組めます。 2. 地域医療・在宅における管理栄養士・栄養士の役割を明確にするとともに、病院での栄養管理と在宅での栄養管理を円滑に進める仕組みづくりに取り組めます。 3. 日本栄養士会が目指す管理栄養士・栄養士の将来構想の実現に向け、会と会員のパイプ役として努力いたします。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分科 候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	かんべ きぬよ	性別	男	女		
		氏名	神戸 絹代							
		勤務先	名称 日本大学短期大学部食物栄養学科 〒 411-8555 静岡県三島市文教町2-31-145 TEL. 055-980-0737							
		所属都道府県 栄養士会	静岡県 栄養士会	会員 番号	0 2 2 0 0 8 7 5	所属職域	研究教育			
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和49年～昭和53年 日本大学短期大学部実習助手 昭和52年～昭和57年 共立病院外来栄養指導担当 昭和60年～平成15年 病院管理栄養士 平成9年～平成15年 日本大学短期大学部非常勤講師 平成15年～平成25年 日本大学短期大学部准教授 平成25年～現在 日本大学短期大学部教授 平成27年～現在 日本大学短期大学部食物栄養学 学科長			平成24年度から2期、日本栄養士会の理事として、主に人材育成事業部の担当として、生涯教育と特定保健指導研修を担ってきました。生涯教育制度の基本的考え方にあるように、管理栄養士・栄養士が科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために常にスキル向上が図れる研修制度と環境づくりに取り組み、国民から必要とされる栄養士・管理栄養士の質の向上ができるように尽力していきます。また、地域代表として、各都道府県の会員の要望を吸い上げ、日本栄養士会に提案して、要望が実現できる努力してきました。今回も東海・北陸地区栄養士会の各県会長の推薦を受けましたので、この4年間の経験を活かして各都道府県と日本栄養士会の連携をとり、会員の声を反映できるようパイプ役を担っていきます。					
		【業績】 平成19年 静岡県栄養士会表彰（栄養改善事業功労） 平成22年 静岡県知事表彰（栄養指導業務功労） 平成23年 厚生労働大臣表彰（栄養指導業務功労）								
		【会員・役員歴】 昭和60年～現在 日本栄養士会会員 平成18年～平成22年 静岡県栄養士会理事 平成24年～ 日本栄養士会理事								

◎ 一般 理事 選任 決議 分科 候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	さいとう ちょうとく	性別	男	女		
		氏名	齋藤 長徳							
		勤務先	名称 (公大) 青森県立保健大学 〒 030-8505 青森県青森市浜館字間瀬58-1 TEL. 017-765-2106							
		所属都道府県 栄養士会	青森県 栄養士会	会員 番号	0 0 2 0 0 3 9 4	所属職域	研究教育			
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和55年～59年 多摩調理師専門学校 昭和59年～60年 特別養護老人ホーム「緑青園」 昭和60年～61年 養護老人ホーム「景楓荘」 昭和61年～平成21年 黒石市国保黒石病院 平成21年～ (公大) 青森県立保健大学 現在に至る			傷病者、要支援者やライフステージ別などすべての国民に栄養と食でサポートをする管理栄養士・栄養士が有用でスムーズな活動ができるよう、各種システムの構築に努めたい。 また県栄養士会の運営に係っているので、都道府県栄養士会と日本栄養士会の連携強化に努め、双方にとっての円滑な運営を探り、その充実と発展のために努めたい。 さらに日本栄養士会理事として、6期12年の経験を活かし、日本栄養士会としてできること、やらねばならぬことの実現と保健、医療、福祉それぞれの分野で活躍している管理栄養士・栄養士の社会的評価の向上に努めたい。特に30年同時改正に向けた対応に寄与したい。 次期は、会長を補佐する立場で、日本栄養士会会員ののために、適所で任務を果たすべく、頑張りたい。 よろしくお願ひいたします。					
		【業績】 平成19年6月 日本栄養士会会長賞 平成22年9月 厚生労働大臣表彰								
		【会員・役員歴】 昭和59年～ 日本栄養士会会員 平成2年～13年 青森県病院栄養士協議会会長 平成4年～14年 全国病院栄養士協議会幹事 平成14年～16年 全国病院栄養士協議会副会長 平成16年～20年 全国病院栄養士協議会協議会長 平成7～13・15～23年 青森県栄養士会副会長 平成13～15・23年 青森県栄養士会常務理事 平成16年～ 日本栄養士会理事 平成20年～26年 日本栄養士会常任理事								

◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		届出番号	※ 6	ふりがな	すずき しほこ	性別	男・女	
		氏名	鈴木 志保子					
		勤務先	名称 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 〒 238-8522 神奈川県横浜須賀野市平成町1丁目10番1 TEL 046-828-2658					
	所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 5 3 5 0	所属職種	研究教育		
◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		【職歴】 平成12年4月～平成15年3月 国立鹿屋体育大学助教授 平成15年4月～平成21年3月 神奈川県立保健福祉大学 助教授（平成19年4月より准教授、大学院兼務） 平成21年4月～現在 神奈川県立保健福祉大学（大学 院兼務）教授 【業績】 平成21年7月～平成25年12月 NPO法人 日本スポーツ 栄養研究会 会長 平成25年12月～平成27年7月 NPO法人 日本スポーツ 栄養学会 会長 平成21年9月 NPO法人 日本栄養改善学会 学会賞受賞 平成24年10月～平成25年3月 厚生労働省「運動基 礎・運動指針の改定に関する検討会」構成委員 【会員・役員歴】 平成16年～現在 日本栄養士会 会員 平成16年～18年 日本栄養士会 特定分野専修コース 検討委員会委員 平成18年～20年 日本栄養士会 特定分野認定研修検 討会委員 平成20年～22年 日本栄養士会 特定保健指導担当 管理栄養士認定ワーキング委員 平成22年～24年 日本栄養士会 特定保健指導担当 管理栄養士運営協議委員 平成22年～24年 日本栄養士会 特定保健指導担当 管理栄養士認定審査委員 平成24年～26年 日本栄養士会 雑誌論文委員会委員 平成25年～26年 日本栄養士会 卒後教育検討会委員 平成26年～現在 日本栄養士会 理事 平成26年～現在 日本栄養士会 ホームページ運営委 員会委員 平成26年～27年 日本栄養士会 生涯教育検討会委員 平成27年～現在 日本栄養士会 生涯教育委員会委員 平成27年～現在 日本栄養士会 2020東京オリンピ ック・パラリンピック支援特別チーム 事業運営委員会委員						
		平成26年度から理事となり2年が経とうとしてい ます。この2年間、情報コミュニケーション事業部 の担当としてHPのリニューアルをはじめ、日本栄養 士会の広報活動に携わりました。この活動を通し て、一般の人が感じている管理栄養士・栄養士への 認識やイメージ、期待していることを知ることが できました。また、理事会に出席し、さまざまな職域 での管理栄養士・栄養士の活躍や課題・問題点等 を知りました。活躍については、より広く社会にア ピールするために、問題・課題については解決や改 善のために、たくさん考えました。 通常の理事業務だけでなく、「私に何かできる ことはないか」を考えた結果、2020年の東京オリ ンピック・パラリンピックに向けてスポーツ栄養が注 目されることを利用し、管理栄養士・栄養士の仕 事を一般の方に理解していただく事業として、2020年 東京オリンピック・パラリンピックで活躍が期待さ れるジュニアアスリートの保護者や指導者を対象に 良好な発育・発達のもと競技力向上に貢献できる講 習会を企画しました。その事業が、情報コミュニ ケーション事業部で今年2月に開催した「未来の トップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミ ナー」でした。このセミナーから、今後につながる 成果や課題を得ることができました。 この2年間、理事として「何をすべきか」「何が できるか」を模索しながら活動を続けました。今 回、理事に立候補するに当たり、「何をすべきか」 については、日本栄養士会の課題・問題に対して、 深く理解が及んでいない分野は勉強して補い、積極 的に活動していきます。「何ができるか」につい ては、管理栄養士・栄養士の認知度を高めるために上 記のスポーツ栄養セミナーを全国展開することにし ました。 理事として活動できるように今回もチャンスをい ただきたく、よろしくお願い致します。						

◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		届出番号	※ 7	ふりがな	たなか やよい	性別	男・女	
		氏名	田中 弥生					
		勤務先	名称 駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 〒 206-8511 東京都稲城市坂浜238 TEL042-350-7139					
	所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	1 4 0 1 3 2 6 6	所属職種	研究教育		
◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		【職歴】 昭和56年～平成20年 南大和病院 栄養科 平成3年～平成20年 同上 栄養科長 平成16年～平成20年 関東学院女子短期大学非常勤講師 平成20年～現在 駒沢女子短期大学 非常勤講師 平成20年～現在 南大和病院 准教授 平成24年～現在 南大和病院 栄養科顧問 平成22年～平成26年 駒沢女子大学 准教授 平成26年4月～ 駒沢女子大学 教授 【業績】 平成8年～平成20年まで全国在宅訪問栄養食事指導研究会の 会長として、管理栄養士の在宅医療・介護を推進し、会を 円滑に運営した。 【会員・役員歴】 昭和56年～現在 日本栄養士会 会員 昭和61年～昭和63年 神奈川県栄養士会 幹事 日本栄養士会 病院栄養士協議会 幹事 平成16年～平成20年 日本栄養士会 全国病院栄養士協議会 幹事 平成24年～平成26年 日本栄養士会 理事 平成26年～現在 日本栄養士会 常任理事						
		「保健・医療・介護」の地域連携が進み、健康予 防、重症化予防、介護予防といった予防の政策が進 められ、同時に栄養士・管理栄養士を取り巻く環境 整備が早急に求められています。その期待に応える ためには、一人ひとりが一丸となってプロ意識が高 く力のある栄養士・管理栄養士としての資質向上が 必要です。その結果、国民に対し「栄養の専門家」 として多くの知識や技術を提供し、その成果が我々 の社会的地位や身分の確立に繋がると考えます。日 本栄養士会のビジョンを全うするために「社会貢 献」「益増大」「会の成長」を目的として引き続き 積極的に努めてまいります。 1. 地域包括ケアにおける「栄養の指導」に関わる体 制整備と有用性の検証を行います。 2. 栄養ケア・ステーション及びセンターの機能充実 を図り、認定栄養ケア・ステーションとの連携、拡 大、推進、育成及び有用性の検証を行います。 3. 地域の職域や他職種との情報提供に必要なツール 等を利用した地域連携の整備に取り組みます。						

◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		届出番号	※ 8	ふりがな 氏 名	にしむら かずひろ 西村 一弘	性別	男・女
		勤務先	名称 駒沢女子大学 〒 205-8511 東京都稲城市坂浜238番地 TEL 042-350-7233				
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	1 3 0 3 9 5 4 7	所属職種	医療
		職歴	昭和57年3月社会福祉法人緑風会緑風荘病院入職 平成 8年4月老人保健施設グリーン・ボイス主任業務 平成15年9月東京家政学院大学非常勤講師業務 平成16年4月社会福祉法人緑風会健康推進部主任業務 平成27年4月駒沢女子大学人間健康学部入職 【業績】 - 平成17年6月NPO法人西東京臨床糖尿病研究会功労賞 - 平成18年5月東京都栄養士会永年会員表彰 - 平成20年11月東京都糖尿病協会個人功績賞表彰 - 平成27年10月東京都知事賞表彰 【会員・役員歴】 - 平成8年～平成28年日本栄養士会、東京都栄養士会 - 平成17年～平成28年 医療部会役員 - 平成24年～平成28年 医療事業部企画運営委員長 - 平成24年～平成28年 理事 - 平成26年～平成28年 会長 - 役員歴（日本栄養士会） - 平成18年～平成20年 全国病院栄養士協議会幹事 - 平成20年～平成24年 全国病院栄養士協議会常任幹事 - 平成24年～平成28年 医療事業部企画運営副委員長 - 平成20年～平成28年 理事				
立候補の抱負	これまで8年間公益社団法人日本栄養士会の理事として、京浜地区担当や栄養ケアステーション事業部にて様々なことに、関わらせていただきました。特に東日本大震災の際には、宮城県気仙沼市の支援活動等には複数回参加して現地で介入や栄養ケア・ステーションの設置をしました。更に本務の合間に時間をつくり、派遣ボランティアの調整や物資の調達等も行いました。その後、JDA-DAT研修会の運営等にも関わらせていただきました。今回の九州地区での震災では、栄養士の調達等後方支援をさせていただきました。今年は秋にJDA-DAT育成研修を本学で行いますので、その運営にも携わるつもりです。今期も理事として皆様のために働かせていただきたいと思いますので、是非ともよろしくお願いいたします。						

◎ 一般 理事 選任決議 分科候補者		届出番号	※ 9	ふりがな 氏 名	さこ かずこ 迫 和子	性別	男・女
		勤務先	名称 公益社団法人 日本栄養士会 〒 105-0004 東京都港区新橋5-13-5 新橋MCVビル6階 TEL 03-5425-6555				
		所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 8 1 3	所属職種	公衆衛生
		職歴	昭和47年4月 神奈川県足柄上保健所入職。 以後、県保健所、保健福祉事務所に勤務 平成13年4月～14年3月 衛生部生活衛生課 平成14年4月～17年3月 同部地域保健課 平成17年4月～20年3月 秦野保健福祉事務所 【業績】 ○公益法人認可後事務所を移転するとともに、組織・会計・事業改革に取り組んだ。 ○本会活動の実体形成を進めるとともに、国民や関係機関・団体等に対して積極的に意見表明、協働を行ったことにより、社会的評価が高まった。 ○食品表示法の公布・施行（栄養表示が義務化）のため、関連会議への参加並びに消費者・事業者への普及活動等を行った。 【会員・役員歴】 - 昭和47年4月～現在 日本栄養士会会員 - 平成18年4月～20年4月 行政協議会長・担当理事 - 平成20年6月～22年6月 常務理事 - 平成22年6月～現在 専務理事				
立候補の抱負	本会に対して社会の大きい関心と期待が寄せられていることから、専務理事として以下の活動に取り組めます。 ○専門職業人としての倫理のもとに会員の資質向上を図り、質の高いサービスを国民に提供していくための活動を推進します。 ○次世代の健康づくり、生活習慣病予防や介護予防、疾病の重症化防止等の対策を推進するとともに、その活動拠点を整備するため栄養ケア・ステーション事業を推進します。 ○超高齢社会を迎え在宅療養が喫緊の課題となっている中で、地域ケア会議への参画等、栄養支援体制の整備に重点的かつ戦略的に取り組みます。 ○本会及び管理栄養士・栄養士の活動に対する社会の認知や理解を深めるために、国民並びに関係機関・団体に対する広報活動を充実強化します。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 10	ふりがな 氏 名	わたなべけいこ 渡辺啓子	性別	女	
		勤務先	名称 公立学校共済組合 九州中央病院 〒 815-8588 福岡県福岡市南区塩原3丁目23-1 TEL092-541-4936					
		所属都道府県 栄養士会	福岡県 栄養士会	会員 番号	0 4 0 1 1 5 1 1	所属職域	医療事業部	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 1978年4月 公立学校共済組合九州中央病院入職 ～現在 に至る 【業績】 平成22年9月 福岡県知事感謝状 平成27年9月 厚生労働大臣表彰(栄養改善) 【会員・役員歴】 昭和53年5月 日本栄養士会・福岡県栄養士会入会 平成12年4月～現在 福岡県栄養士会理事 平成14年～22年 全国病院栄養士協議会九州地区幹事 平成22年～現在 日本栄養士会医療事業部企画運営委員副委員長						
		立候補の抱負 管理栄養士・栄養士の医療職種としての確立と専門性の追求、社会的地位の向上をめざし、会員のスキルアップ、資質の担保を担うべく、日本栄養士会の組織拡充と活性化に貢献したい。また、社会における医療・介護情勢のなかでの日本栄養士会の役割を確立し、平成30年同時改定にむけた管理栄養士・栄養士業務を広く内外に確立するために尽力したい。						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 11	ふりがな 氏 名	そのはら のりこ 園 原 規 子	性別	男 ・ ○女	
		勤務先	名称 公益社団法人長野県栄養士会 〒 380-0836 長野県長野市大字南長野字南町685-2 TEL 026-235-2308					
		所属都道府県 栄養士会	長野県 栄養士会	会員 番号	0 2 0 0 0 1 5 4	所属職域	地域活動	
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和47年～平成21年 厚生連北信総合病院勤務 平成5年～平成21年 同病院栄養科長 平成19年～現在 北陸食育フードカレッジ講師 平成21年～現在 松本大学非常勤講師 【業績】 平成4年 長野県栄養士会会長表彰 平成5年 日本栄養士会会長表彰 平成16年 長野県知事表彰 平成17年 厚生労働大臣表彰 【会員・役員歴】 昭和55年～60年・平成2年～5年 長野県栄養士会病院栄養士協議会長 平成10年～13年 長野県栄養士会常任理事 平成14年～19年 長野県栄養士会副会長 平成20年～現在 長野県栄養士会会長 平成22年～23年 日本栄養士会理事 平成24年～現在 日本栄養士会常任理事						
		立候補の抱負 少子高齢化、高度情報化、政治経済の変革が進むなか、管理栄養士・栄養士をとりまく環境は急速に変化し、保健・医療・福祉さらに食に関するすべての分野において、増々、私たちの役割、責務、社会的評価は大きな転換期を向かえています。 地域連携事業部、職域事業部を担当させていただき、会員増モデル県の設置、養成施設卒業生向けの活動等、会員増対策に取り組んできましたが、道半ばの状況にあります。 現在、日本栄養士会、及び都道府県栄養士会にとって会員増対策は大きな課題です。 各県会長及び地区会長会議と連携をとりながら、更に若い会員にとって、魅力的な会運営と公益法人としての活動に尽力したいと思います。						

◎ 一般 理事 兼任 分科 候補者		届出番号	※ 12	ふりがな	こまつ たつし	性別	男・女
		氏名	小松 龍史				
		勤務先	名称 同志社女子大学生活科学部 〒 602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入 TEL 075-251-4236				
	所属都道府県 栄養士会	京都府 栄養士会	会員 番号	0 2 6 0 0 9 2 3	所属職種	研究教育	
◎ 一般 理事 兼任 分科 候補者		【職歴】 昭和58年 4月 産業医科大学病院栄養部勤務 昭和63年 3月 産業医科大学病院栄養部副部長 平成10年10月 徳島大学医学部栄養学科助教授 平成13年 4月 お茶の水女子大学生活科学部教授 平成15年 4月 大阪府立看護大学（現大阪府立大）総合リハビリテーション学部教授/学部長（平成15～17年） 平成19年 4月 同志社女子大学生活科学部教授（至現在） 【業績】 <日本栄養士会における業績> 平成6年より理事として様々な理事活動に参画した。特に平成16年からは常任理事として生涯学習制度改革、特定分野研修制度創設などに尽力し、会員研修のあり方を模索した。平成24年8月より公益社団法人日本栄養士会の会長として、理事会メンバーと共に将来構想を策定し、その実現に向けた活動を推進した。平成24～25年度理事会の具体的な実績 ①理論構築への取り組み：専門職の在り方、職業倫理確立への取り組み、栄養士法研究の促進（厚生法制研究会）。 ②実体形成への取り組み：新しい生涯教育制度によるミニマムスタンダード（職業倫理、NCP等）の普及促進。専門管理栄養士制度など関連学会等との連携拡大。栄養ケアステーションの拡大。地域・在宅における活動強化。JDA-DATの強化による災害対応。未入会者への入会促進活動の強化など多数 ③理論形成への取り組み：企画広報室の充実によるHPリニューアル、マスコミ対応等の拡大 ④政策形成への取り組み：栄養士法研究成果に基づく法制度提案力の強化。関連学会団体等と連携した診療報酬改正への対応など。 【会員歴】 昭和62年入会現在に至る 【役員歴】 平成6年から日本栄養士会理事10期。平成16～19年学術研究部長、同20～24年研修部長、平成24年8月より会長として活動した。			これまで、2期4年間、日本栄養士会の会長として、理事会メンバーや各種委員、事務局のメンバーと協働し、また、多くの関係者の皆様の協力を得ながら活動してきました。1期目は公益社団法人である日本栄養士会、ひいては管理栄養士・栄養士があるべき姿とは何かを共有し、一致して活動するために理事会メンバーと執行部は力を合わせて将来構想策定とその構想と整合性のある事業に取り組みました。2期目は左記業績欄にお示したように、その取り組みが見える形になってきたかと存じます。将来構想の実現にはまだまだ高いハードルがあります。またアウトカムを十分に示すことができていないとも言えません。日本栄養士会の取り組みの成果が上がるように、次の2年間リーダーシップを取らせていただきたく、皆様のご支援をお願いいたします。		
		管理栄養士も栄養士も共に人々に身近な栄養と食の専門職として、社会や国民の期待に応え、名実ともに公衆衛生の向上に寄与できるように「栄養の指導」を実現すべく、次に示す4点に取り組めます。			理論的根拠の確立（理論構築） 私たち自身の業務実体の確立（実体形成） 社会からの理解獲得（世論形成） 活動環境の整備（政策形成）		

◎ 一般 理事 兼任 分科 候補者		届出番号	※ 13	ふりがな	あかえだ いつみ	性別	男・女
		氏名	赤枝 いつみ				
		勤務先	名称 神奈川県鎌倉保健福祉事務所 〒 248-0014 神奈川県鎌倉市由比ガ浜2-16-13 TEL 0467-24-3900				
	所属都道府県 栄養士会	神奈川県 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 0 2 9 3	所属職種	公衆衛生	
◎ 一般 理事 兼任 分科 候補者		【職歴】 昭和54年4月～ 神奈川県庁入庁 衛生部食品衛生課 昭和59年4月～ 平塚保健所 平成2年4月～ 藤沢保健所 平成6年4月～ 茅ヶ崎保健所 平成9年4月～ 衛生部食品衛生課 平成12年4月～ 大和保健福祉事務所 平成17年4月～ 保健福祉部健康増進課 平成22年4月～ 県立足柄上病院 栄養管理科長 平成25年4月～ 大和保健福祉事務所 保健福祉課長 平成26年4月～ 厚木保健福祉事務所大和センター（機構改革のため名称変更）保健福祉課長 平成28年4月～ 鎌倉保健福祉事務所 保健福祉部長 現在に至る 【会員・役員歴】 昭和55年～現在 日本栄養士会会員 平成23年8月～ 日本栄養士会理事			管理栄養士・栄養士が各自の能力を最大限に発揮し、未来に希望を持って働き続けられる環境を整えるために、日本栄養士会の理事として、以下の活動に取り組めます。		
		1 会員と将来像を共有し、目指す成果につながる具体的な取組を効率的に行える仕組みづくりに努めます。 2 結婚・出産・子育て・介護と仕事を両立し、働き続けたい、あるいは再就職や活動の再開を望む管理栄養士・栄養士の支援を行うために、適切な情報の提供に努めます。 3 地域包括ケアシステムの中で、各職域の管理栄養士・栄養士が地域の栄養・食生活の課題解決に向け、専門性を生かし連携して取り組むために、ネットワークを構築し機能している参考事例の収集・提供等に努めます。					

◎ 一般 理事 選任決議 分野候補者		届出番号	※ 14	ふりがな	ませぎ よしかず	性別	◎男・女
		氏名	榑木 嘉和				
		勤務先	名称 名古屋文理大学短期大学部 〒 451-0077 愛知県名古屋市中区笹塚町2丁目1番地 TEL 052-521-2251				
		所属都道府県 栄養士会	愛知県 栄養士会	会員 番号	0 2 3 0 0 0 4 0	所属職域	学校健康教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和50年4月～平成6年3月 一宮市公立学校栄養職員 平成6年4月～平成20年3月 一宮市公立学校栄養職員 主査 平成20年4月～27年3月 一宮市立木曾川中学校栄養教諭 平成27年4月～現在 名古屋文理大学短期大学部 准教授 【会員・役員歴】 昭和50年4月～ 栄養士会入会 平成10年4月～18年3月 (社)愛知県栄養士会 理事 学校健康部会長 平成12年4月～14年3月 (社)愛知県栄養士会 総務部長 平成14年4月～18年3月 (社)愛知県栄養士会 事業部長 平成18年4月～平成20年3月 (社)日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士協議会 幹事 平成20年4月～ (社)日本栄養士会 全国学校健康教育栄養士協議会協議会長 平成20年6月～ (社)日本栄養士会 理事 公益化に伴い協議会長が企画運営委員長に変更になり現在に至る。					
		立候補の抱負 学校健康教育事業部担当理事として4期務めさせていただき、職域の活動内容の「見える化・活性化」を進めてきました。4期目では、学校給食摂取基準の変更に伴い、摂取基準の考え方を会員に広めるため、研修会を全国展開することによって、多くの会員に考え方の共有化を図ることができました。 今回は、一般理事として、今まで培ってきた経験、そして文部科学省とのつながりを生かして、今までとは違った観点から、栄養士会の掲げている将来構想の早期実現に向けて尽力していきたいと思います。 そして、学校健康教育事業部の念願でもある「1校1名配置」に向けて、学校給食に携わる栄養士が今まで以上に、高度な専門性を身につけ、社会的に認知されよう努めていきたいと思います。					

◎ 一般 理事 選任決議 分野候補者		届出番号	※ 15	ふりがな	いのうえ こういち	性別	◎男・女
		氏名	井上 浩一				
		勤務先	名称 駒沢女子大学 〒 206-8511 東京都稲城市板浜238 TEL 042-350-7235				
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	0 1 4 0 4 7 7 5	所属職域	研究教育
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴		【職歴】 昭和58年 厚生省保健医療局健康増進栄養課 平成2年 埼玉県東松山保健所 平成3年 埼玉県衛生部保健予防課 平成5年 厚生省保健医療局健康増進栄養課 平成9年 厚生省生活習慣病対策室 平成13年 厚生労働省新開発食品保健対策室 平成14年 関東学院大学 平成24年 駒沢女子大学 【業績】 管理栄養士国家試験委員 日本栄養改善学会管理栄養士コアカリ作成委員 東京都調理師試験委員 人間ドック健診協会 推薦商品評価委員長 【会員・役員歴】 日本栄養士会理事 (平成16年～17年) 日本栄養士会常任理事 (平成18年～22年) 日栄の栄養士制度検討会委員長 (平成17年～平成19年)					
		立候補の抱負 ○日本栄養士会員の職域拡大と地位向上のために、今後具体的にどのような施策を展開すべきか、会員にそのことを明確に情報公開しながら、その実現化を目指したい。 それには特に以下の点について、施策・制度化に向けて努力したい。 ★栄養士制度の改正 (最終改正から16年の経過) 栄養士養成施設協会との協議・連携の重視 栄養士連盟との連携強化 栄養士教育制度の活性化 ★独り立ちするための診療報酬・介護報酬の改正 居宅療養、特定保健指導、その他栄養指導等による事業運営可能な報酬体系の確立と制度化に向けた提案・展開 ★栄養CSの市町村レベルでの構築・活性化 身近な地域の活動拠点としての栄養CSの構築 ★民間・関係団体との積極的な連携・協働 栄養士会と民間・関係団体双方のメリットとなる連携・協働による地域社会貢献の推進 ★副会長として会長を支援したい					

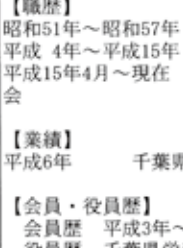
◎ 一般 理事 兼任 役員 候補者		届出番号	※ 16	ふりがな 氏 名	なかがわ ゆきえ 中川 幸恵	性別	男 ・ 女
		勤務先	名称 独立行政法人 地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 〒004-8618 札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1 TEL 011-893-5882				
		所属都道府県 栄養士会	北海道 栄養士会 会員番号 0 0 1 0 7 2 7 5 所属職域 医療事業部				
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 昭和58年～昭和62年 釧路調理師専門学校 昭和62年～平成4年 札幌トロイカ病院 平成4年～平成8年 札幌鉄道病院 平成8年～現在 独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 (旧札幌社会保険総合病院) 【業績】 平成16年 北海道栄養士会会長表彰 平成16年 日本栄養士会会長表彰 平成24年 北海道知事表彰 平成25年 厚生労働大臣表彰 【会員・役員歴】 昭和58年～現在 日本栄養士会会員 平成6年～平成8年 北海道病院栄養士協議会役員 平成16年～平成17年 北海道病院栄養士協議会副会長 平成18年～平成28年 北海道栄養士会医療協議会会長 平成18年～平成28年 北海道栄養士会理事 平成18年～平成20年 全国病院栄養士協議会地区幹事 平成20年～現在 全国病院栄養士協議会常任幹事 (現日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員)						
	平成16年より北海道栄養士会病院栄養士協議会会長を務め、平成20年からは、現日本栄養士会医療事業部常任企画運営委員として、医療に従事する管理栄養士・栄養士の知識・実践能力向上のための研修会企画や人員確保等に関わる資料作成等の活動を行ってきました。今年度の診療報酬改定において、栄養食事指導に対する効果が認められ評価されたことは、大変嬉しく思っております。 今後も医療に従事する管理栄養士のみならず、すべての管理栄養士、栄養士の社会的地位の向上を目指した活動を積極的に実行していきます。また、都道府県栄養士会と日本栄養士会の各種事業の円滑な運営遂行と発展のために努めたいと考えています。						
	立候補の抱負						

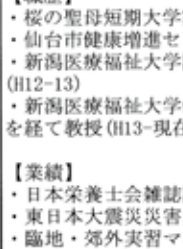
◎ 一般 理事 兼任 役員 候補者		届出番号	※ 17	ふりがな 氏 名	はせがわ かつみ 長谷川 克己	性別	男 ・ 女
		勤務先	名称 〒 TEL - -				
		所属都道府県 栄養士会	千葉県 栄養士会 会員番号 0 1 2 7 0 1 4 7 所属職域 医療				
職 歴 ・ 業 績 ・ 会 員 ・ 役 員 歴	【職歴】 昭和43年4月～62年6月 国立病院4施設に勤務 62年7月～63年3月 千葉県衛生部小児医療施設準備室 63年4月～平成13年3月 千葉県こども病院 平成13年4月～平成20年3月 千葉県循環器センター 【業績】 40年にわたって千葉県栄養士会の役員として、会の発展に努めた。日本栄養士会の役員として、第5次組織強化長期計画を推進し、組織の活性化を図った。平成20年度からは副会長として、会長を補佐し法人設立50周年記念事業をはじめとする各種事業の円滑な実施に努めた。 【会員・役員歴】 昭和46年度～現在 日本栄養士会会員 昭和49年度～58年度 千葉県栄養士会病院部役員 49年度 千葉県栄養士会拡大運営委員 51年度～56年度 (社) 千葉県栄養士会理事 59年度～平成19年度 千葉県病院栄養士協議会役員 59年度～平成23年度 (社) 千葉県栄養士会理事、副会長、会長 平成2年度～3年度 全国病院栄養士協議会理事 4年度～5年度 (社) 日本栄養士会理事 8年度～19年度 (社) 日本栄養士会理事 20年度～23年度 (社) 日本栄養士会副会長 24年度～現在 (公社) 千葉県栄養士会会長 24年度～現在 (公社) 日本栄養士会副会長						
	今までの日本栄養士会および千葉県栄養士会の役員としての経験に基づき、副会長として会長を補佐し、日本栄養士会の将来構想実現と各種事業の充実発展と、組織の円滑な運営のために努力します。						
	立候補の抱負						

◎ 一般 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 18	ふりがな	てらもと ふさこ	性別	男・女	
		氏名	寺本 房子					
	勤務先	名称 川崎医療福祉大学 〒 701-0193 岡山県倉敷市松島 2 8 8 TEL 086-462 -1111						
	所属都道府県 栄養士会	岡山県 栄養士会		会員 番号	3 3 0 0 3 9 9 8	所属職域	研究教育	
◎ 職域 理事 選任 決議 分野 候補者		【職歴】	昭和49年 川崎医科大学付属病院栄養部 管理栄養士 昭和58年 川崎医療短期大学（栄養科）講師 平成3年 川崎医療福祉大学助教授 平成7年 川崎医科大学付属病院栄養部 課長補佐（201年まで） 平成15年 川崎医療福祉大学・大学院教授（現在に至る） 【業績】 日本栄養改善学会評議員・理事、日本臨床栄養学会評議員、日本病態栄養学会評議員、日本静脈経腸栄養学会評議員・理事を務める。昭和63年日本栄養改善学会奨励賞、平成19年厚生労働大臣表彰 【会員・役員歴】 昭和49年～ 日本栄養士会会員 平成20年～22年 岡山県栄養士会研究教育協議会監事 平成20年～22年 岡山県栄養士会栄養ケアアステーション委員 平成21年～ 日本栄養士会専門管理栄養士制度検討委員 平成22年7月～日本栄養士会理事					
		【抱負】	平成26年度より生涯学習制度は、生涯教育制度として新しくスタートし、各分野で中心的に活躍できる人材に対する認定制度としての整備に携わった。2025年問題に向け、住み慣れた地域で自分らしい生活ができる環境整備が進められている。食はその基本となるもので、より高度で専門性の高いスキルを持つ人材が求められている。この生涯教育を通して、管理栄養士・栄養士育成のスキルアップへ繋げられるよう努力する。また、本年度より、各分野（職域）のコンピテンシーに対する習熟度を評価する認定審査がスタートする。この制度が、社会のこれらのニーズに呼応し、認定者は必要とされる人材として社会より評価される制度となるよう努力する。 1. 認定管理栄養士、認定栄養士制度の充実に努力する。 2. 専門管理栄養士制度の整備・充実に向け努力する。 3. 特定分認定研修制度のさらなる充実を図り、臨床で活躍できる管理栄養士・栄養士育成に努める。					

2. 職域理事選任決議分野候補者

◎ 職域 理事 選任 決議 分野 候補者		届出番号	※ 1	ふりがな	いしかわ ゆういち	性別	男・女	
		氏名	石川 祐一					
	勤務先	名称 株式会社日立製作所日立総合病院 〒 317-0077 茨城県日立市城南町 2 - 2 - 1 TEL 0294-23-8335						
	所属都道府県 栄養士会	茨城 栄養士会		会員 番号	0 0 8 7 0 3 0 9	所属職域	医療	
◎ 職域 理事 選任 決議 分野 候補者		【職歴】	昭和62年4月～平成元年10月 藤井病院勤務 平成元年11月～平成 3年3月 日立木材地所株式会社 平成3年 4月～現在 株式会社日立製作所日立総合病院					
		【会員・役員歴】	昭和60年～ 日本栄養士会会員 平成15年～平成21年 茨城県栄養士会理事 平成15年～平成21年 茨城県病院栄養士協議会長 平成17年～平成21年 茨城県栄養士会副会長 平成20年～平成22年 全国病院栄養士協議会常任幹事 平成22年4月～現在 全国病院栄養士協議会協議会長（現医療事業部企画運営委員長） 平成22年6月～現在 日本栄養士会理事					
		【抱負】	・医療事業部の代表として会員の声を理事会に反映させるべく役割を全うしたい。 ・医療事業部のビジョン達成のために（日栄）関連事業部との連携を図り、平成30年医療・介護同時改定において、会員に有益な結果が得られるよう尽力したい。 ・理事の役割として、会長を補佐することもその一つであり、会が抱える課題を丸ごとって解決していきたい。					

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 2	ふりがな	えびはら まさこ	性別	男・ ☒ 女
		氏名	海老原 昌子				
		勤務先	名称 千葉県厚生農業協同組合連合会 〒 260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉3丁目2番地6号 TEL 043-245-7443				
		所属都道府県 栄養士会	千葉県 栄養士会	会員番号	0 1 2 5 0 2 3 5	所属職域	地域活動
◎ 職歴・業績・会員・役員歴		【職歴】		昭和51年～昭和57年 千葉県船橋市学校栄養職員 平成4年～平成15年 丸善海苔加工販売株式会社 平成15年4月～現在 千葉県厚生農業協同組合連合会			
		【業績】		平成6年 千葉県栄養士会会長表彰			
		【会員・役員歴】		会員歴 平成3年～ 役員歴 千葉県栄養士会 平成14年～平成17年（役員） 平成24、25、26、27年（理事） 日本栄養士会 平成18年～25年 地域活動事業部 企画運営委員 平成26年～27年 地域活動事業部（企画運営委員副委員長）			
		立候補の抱負		地域活動栄養士は国民に一番近い所で活動している。そのために即戦力となりうる知識と技術と人間力を常に研鑽しなければならない。また会員一人一人が自主独立し多岐にわたり活動しているという特徴がある。栄養士会がその活動の一助となり、更なる国民の公益に繋がるように微力ながら努力をしたい。			

◎ 職域 理事選任決議分野候補者		届出番号	※ 3	ふりがな	さいとう としこ	性別	女
		氏名	斎藤 トシ子				
		勤務先	名称 新潟医療福祉大学 〒 950-3198 新潟市北区島見町1398 TEL025-257-4418				
		所属都道府県 栄養士会	新潟県 栄養士会	会員番号	0 1 5 0 3 0 2 3	所属職域	研究教育
◎ 職歴・業績・会員・役員歴		【職歴】		・桜の聖母短期大学家政学科副手（S51-H4） ・仙台市健康増進センター健康増進課（H4-12） ・新潟医療福祉大学設立準備財団専門委員会委員（H12-13） ・新潟医療福祉大学健康科学部健康栄養学科助教授を経て教授（H13-現在に至る）			
		【業績】		・日本栄養士会雑誌論文委員会委員（H22-23） ・東日本大震災災害支援活動実施 ・臨地・郊外実習マニュアル（2014年版）改定検討ワーキング委員 ・新卒会員増対策の検討・実施			
		【会員・役員歴】		・新潟県栄養士会理事（H18-22） ・新潟県栄養士会常任理事・副会長（H22-26） ・全国研究教育協議会幹事（H20-24） ・全国研究教育事業部企画運営委員（H24-26） ・全国研究教育事業部企画運営委員長（H26-28） ・日本栄養士会理事（H26-28）			
		立候補の抱負		私は、平成26年から日本栄養士会の職域（研究教育）理事を務めさせていただきました。正直、理事になるまでは、日本栄養士会という組織がどのような目的の下で、どのような活動をしているのか、ほとんどわからない状況でしたが、日本栄養士会は、私たち管理栄養士・栄養士の存続や地位向上、国民の健康づくりの推進に向け、精力的に活動していることがわかりました。そこで、管理栄養士・栄養士養成や研究に携わっている当事業部も、心をつなげて活動しなければいけないことを痛感いたしました。この2年間は、研究教育事業部の基盤整備を図るとともに、新卒会員増対策などに務めました。さらなる展開が必要であることから、引き続き、理事に立候補いたしました。当事業部には、栄養士法改正の検討、倫理綱領の普及、当事業部会員の生涯教育の検討、教育・研究・社会貢献に向けての情報発信の検討、会員増対策、会員間のネットワークの構築等、多くの課題が山積しているため、多少なりとも課題解決ができるよう、力を尽くしたいと思います。			

◎ 職域 理事 選任決議分野候補者		届出番号	※ 4	ふりがな	まさやす しずこ	性別	男 ☐ 女 ☒
		氏名	政安 静子				
		勤務先	名称 社会福祉法人新世会 特別養護老人ホームいくり苑那珂 〒311-0105 茨城県那珂市菅谷3799-6 TEL. 029-352-0017				
		所属都道府県 栄養士会	茨城県 栄養士会	会員 番号	0 8 8 0 0 0 9 4	所属職域	福祉
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和42年～44年 (株)日立製作所国分工場 昭和44年～49年 (株)日立木材地所 昭和49年～50年 (財)茨城県学校給食会 昭和51年～55年 雙洲病院 昭和55年～平成19年 茨城県立あすなろの郷 平成19年～現在 特別養護老人ホームいくり苑那珂 【業績】 昭和43年 集団給食における適温管理システム化により中央食生活改善大会で厚生大臣賞に尽力 【会員・役員歴】 昭和50年～入会 昭和61年～平成13年 (社)茨城県栄養士会理事 昭和63年～平成4年 全国福祉栄養士協議会運営委員 平成4年～平成6年 全国福祉栄養士協議会副協議会長 平成6年～平成24年 全国福祉栄養士協議会協議会長 平成24年～現在 (公社)日本栄養士会理事 福祉事業部企画運営委員長						
	立候補の抱負 福祉職域における栄養改善に関わる各種制度改正、特に平成30年度改正に向け、福祉施設利用者の健康管理とQOLの向上を目指し、適切な栄養管理業務が遂行できるよう、効果的な管理栄養士の栄養管理業務の有効性を実証する。さらに、栄養管理業務の技法を高め、国民の福祉の増進に寄与するよう以下の事業の推進に努めます。 1. 適切な栄養ケア・マネジメントを多職種協働で実践し、利用者に寄り添った栄養・食生活支援ができるよう質を高めます。 2. 在宅の高齢者および障害者等の栄養改善を図るため、業務を拡大するとともに、雇用の促進を図ります。 3. 保育所保育指針の改定を受け、「食を育む力を培う」ため、食育を推進し、保護者及び地域の子育て支援に貢献します。 4. 福祉職域に関わる管理栄養士業務の調査を行い、業務の有用性とその効果を実証します。 5. 利用者の食習慣や栄養状態を評価し、各種制度や施策に反映できる資料作成をします。						

◎ 職域 理事 選任決議分野候補者		届出番号	※ 5	ふりがな	ほしの のりお	性別	男 ☒ 女 ☐
		氏名	星野 紀史				
		勤務先	名称 米子市立学校給食センター 〒683-0025 鳥取県米子市大谷町28-8 TEL. 0859-33-4750				
		所属都道府県 栄養士会	鳥取県 栄養士会	会員 番号	0 3 1 0 0 5 5 2	所属職域	学校健康教育
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 平成18年 日南町立学校給食センター勤務 平成21年 大山町立中山小学校 勤務 平成24年 日南町立学校給食センター勤務 平成27年 米子市立学校給食センター勤務 【業績】 【会員・役員歴】 平成21年～現在 会員 平成22年～24年 鳥取県栄養士会理事 22年～23年 生涯学習委員長 24年 インターネット委員長 平成26年～現在 日本栄養士会 学校健康教育専業部 企画運営委員						
	立候補の抱負 立候補にあたり、特に力を入れたいことが2つあります。それは会員のスキルアップ仲間づくりです。その理由は、時代の変化とともに学校で求められるものが増えており、スキルアップが必要なのは言うまでもありませんが、より多くのひとと一緒にの方がより楽しく継続できると考えているからです。 そのために、これから専業を時代や情報の変化、ニーズに合わせることも大切にして、幅広く会員の声を反映していきたいと考えております。 最後に、まだ経験も浅く、多くの方の力を借りることになると思いますが、周りの方達の意見を聞きながら、若い世代や地方から少しでも会の発展につなげていきたいと考えております。 どうぞよろしくお願いいたします。						

職域 理事 兼任 決断分野 候補者		届出番号	※ 6	ふりがな 氏 名	こくぶ はこ 園分葉子	性別	男	女	
		勤 務 先	名称 エームサービス株式会社 〒 107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー1F TEL 03-6234-7552						
		所属都道府県 栄養士会	東京都 栄養士会	会員 番号	01302389	所属職域	勤労者支援		
職歴 ・ 業績 ・ 会員・役員歴	【職歴】 S57年 大学卒業後 種々「食」に関する勤務を経て H8～16年 シダックス フードサービス株式会社入社 H17 年～ エームサービス株式会社入社 現在に至る				日本で生活する人々を健康にする社会の実現に貢献 する事を目的とし、社会の私たちへのニーズに応え られるよう「食産業」に関わる管理栄養士、栄養士 の活動を今期は行政、学術分野等との連携で強化し てまいります。新たなアプローチを本会から発信し ご賛同いただけるよう努力してまいります。よろし くお願いいたします。				
	【業績】 				立候補の抱負				
	【会員・役員歴】 (東京都栄養士会) 職域運営委員 平成14～24年 理事 平成20～24年 広報部長 平成20～21年 事業部長 平成22～24年 職域部長 平成22～24年 (日本栄養士会) 職域運営委員 平成18～28年 理事 平成26～27年 (人材育成部、地域連携部 担当) 職域運営委員長 平成26～28年								
	(日栄・都栄ともに所属職域：現) 勤労者支援事業部)								

	職域 理事兼主任決断分野統括者	届出番号 7	ふりがな 氏名 阿部 綱子	あべ きみこ	性別 男・女
	名称 群馬県健康福祉部保健予防課 〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号 TEL 027-226-2427	勤務先	所属都道府県 群馬県	所属都府県 栄養士会	所属都府県 群馬県 栄養士会
	所属都道府県 群馬県	所属都府県 栄養士会	会員番号 01000745	所属職域 公衆衛生	公衆衛生
職歴・業績・会員・役員歴	【職歴】 昭和58年4月 群馬県職員（入庁） ～平成3年3月 沼田保健所・中・之条保健所 平成 3年4月～ 9年3月 衛生環境部 保健予防課・健康長寿課 保健環境部 平成 9年4月～14年3月 利根保健所・渋川保健所 平成14年4月～18年3月 教育委員会保健体育課 平成18年4月～21年3月 渋川保健福祉事務所 平成21年4月～22年3月 食品安全局衛生食品課 平成22年4月～26年3月 食品安全局食品安全課 平成26年4月～現在 健康福祉部保健予防課 【会員・役員歴】 昭和58年4月～現在 日本栄養士会会員 平成10年4月～12年3月 群馬県行政栄養士協議会幹事 平成20年4月～22年3月 同 副会長 群馬県栄養士会渋川支部 支部長 平成20年4月～現在 群馬県栄養士会理事 （学術部長） 平成22年6月～24年8月 日本栄養士会行政協議会幹事 平成24年8月～26年6月 日本栄養士会公衆衛生事業部 企画運営委員 平成26年6月～現在 同 企画運営委員長 日本栄養士会職域理事 （公衆衛生担当理事）	立候補の抱負 公衆衛生職域担当理事及び公衆衛生事業部の企画運営委員長として組織強化や事業部の運営に尽力してきました。 特に、健康日本21（第二次）を推進するため、平成25年3月に「地域における行政栄養士の健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針」策定され、これに基づき、行政栄養士が行う施策の成果が最大に得られるよう、厚生労働省、国立保健医療科学院等と連携し、人材育成のための研修事業等に取り組みてきました。併せて、日本栄養士会の生涯教育制度を推進するため、都道府県リーダーとの協力のもとで、公衆衛生分野における「人材育成ガイド」を策定しました。 今後は、これまでの成果を活かし、引き続き、栄養・食生活に関する施策の成果の見える化を推進していきたくと考えています。 また、超高齢社会となる2025年（平成37年）を目途に、地域で高齢者に包括的な支援・サービスを提供するための地域包括ケアシステムの構築や在宅医療なども推進されていますが、日本栄養士会においても、在宅医療・介護に関しては、低栄養等の栄養課題への対応が重要であるとしています。公衆衛生事業部においても市町村の現状を把握し、県と市町村が連携し、事業が推進される体制の整備を図ることが必要となっています。 こうした情勢を踏まえ、行政栄養士が専門職である管理栄養士として、その能力を発揮できるよう、会員相互の連携を図り、有益な施策を共有する体制を確立するために、公衆衛生担当の職域知事として尽力していきます。			

プロ仕様のスポーツ栄養を、見て、聞いて、食べて、一日で学ぶ！

「未来のトップアスリートのための 体感型スポーツ栄養セミナー」

全国12か所で開催

平成28(2016)年2月29日、およそ150名の受講者を迎え開催した同セミナー。今年度、この好評を受けて各都道府県にて順次開催が決定しました。このセミナーでは、スポーツ栄養の第一人者を講師に迎え、ジュニアアスリートのための栄養学を、より実践的に、より効果的に学ぶことができます。「スポーツ栄養を一から学びたい」、「将来的に公認スポーツ栄養士を目指したい」、「指導している対象者に好記録を出させてあげたい」そのような管理栄養士・栄養士、指導者、また、保護者の方に満足いただける内容となっています。日本栄養士会では、日時、会場を含む詳細が決定しだい、希望される方へ開催に関するお知らせメールをお送りいたします。日本栄養士会ホームページ(以下URL参照)から、参加希望エリアを明記のうえ登録ください。みなさんのご参加、お待ちしております！

スポーツをする子どものフィジカルを、栄養で整える。

プロ仕様の栄養学を、
おうちごはんに
取り入れる！

未来の トップアスリートのため の体感型 スポーツ 栄養セミナー

好評につき、2016年、全国12か所で開催が決定！

スポーツ栄養の第一人者を講師に迎え、ジュニアアスリートのための栄養学をより実践的に、より効果的に学ぶことができる「未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー」2016年2月29日に東京で開催された第1回の好評を受けて、全国展開が決定！(子どもに好記録を出させてあげたい！)毎日の食事の面でサポートしたい！そのような保護者や指導者の方にこそ満足いただける内容となっています。奮ってご参加ください！

【開催予定地】
北海道・岩手県・宮城県(計3) /
新潟県・福井県・長野県・静岡県・愛知県・大阪府・愛媛県・福岡県
開催日程予定 2016.8~2017.2

詳しくは

お問い合わせ先 未来のトップアスリートのための体感型スポーツ栄養セミナー 事務局 〒105-0004 港区新橋5-13-5 新橋MCVC/46階 TEL 03-5425-6555 FAX 03-5425-6554

●日程と開催地

2016 年	8 月 20 日 (土)	北海道札幌市	8 月 24 日 (水)	静岡県静岡市
	8 月 27 日 (土)	滋賀県大津市	8 月 28 日 (日)	愛媛県松山市
	9 月 1 日 (木)	長野県諏訪市	9 月 2 日 (金)	東京都渋谷区
	9 月 4 日 (日)	新潟県新潟市	9 月 11 日 (日)	福井県福井市
2017 年(予定)	1 月 29 日 (日)	大阪府大阪市	2 月 10 日 (金)	東京都渋谷区
	2 月 19 日 (日)	岩手県盛岡市	2 月 26 日 (日)	福岡県福岡市

▼日本栄養士会ホームページ(トップページ > NEWS 最新情報 > ピックアップ)をチェック！

<http://www.dietitian.or.jp/news/information/2016/20160407-01.html>

— 会報 栄養日本・礎(紙媒体)の最終号のお知らせ —

本誌は、今回をもって最終号とすることになりました。公益法人への移行に伴って、会員広報誌である「日本栄養士会雑誌」とその位置づけを分け、2011年10月に第1号を発行しました。本誌の編集は総務部が担当し、会員向けの情報「News & Topics」、日本栄養士会の総会や会務に関すること、職域事業部や都道府県栄養士会のページ、その他旬な話題を掲載してきました。さらに「栄養日本・礎」という名称は、第1号で会員から名称を募集し、熊本県西川千代子会員からの「日本栄養士会会員がしっかりとした基礎を身につけて、国民の栄養意識の土台となり、国民の生命をささえる」という気持ちで考えてくれた名称でした。

この間、会員向け情報はもちろんのこと、公益法人としてのスタートや東日本復興支援活動、診療報酬や介護報酬、障がい福祉サービス等報酬改定の速報、職域事業部の見直し、会員管理システムの構築、役員改選、職業倫理の制定、新しい生涯教育制度などなど、たくさんの情報を提供してきました。情報収集にあたっては、総務部総動員(5人)でそれぞれのアンテナをでっかく伸ばし、多くの会員にいち早く伝えたいとの気持ちを込め、原稿を書いていました。

現在日本栄養士会では「管理栄養士・栄養士の将来像」を掲げ、4つの活動を強化しています。「理論構築」「実態形成」「世論形成」「政策形成」であります。その中の「世論形成」で新たに事務局内に企画広報室を設置し、これまでにない管理栄養士・栄養士の戦略的広報活動を行っています。特に今回ホームページを刷新するにあたり、すべてのコンテンツを見直し、本誌の機能も兼ね備えた構成と刷新となりました。このことによって本誌としての役目を終えることとなりました。

会員の皆様には、5年間という短い期間ではありましたが、会員向け情報誌としてお役に立てましたでしょうか。今後は「日本栄養士会雑誌」とともに本会ホームページでの「マイページ」「会員限定ページ」をご活用いただきたいと思います。

永らくのご愛読、ありがとうございました。

総務部一同